

人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会 第1回

8月2日(木) 12:00-14:00

日本学術会議 会議室5 - A(1)

出席者：佐藤岩夫委員、窪田幸子委員、山極壽一委員、澁澤栄委員、高井伸二委員、小山田耕二委員(スカイプ)、喜連川優委員、鷲谷いづみ委員、湯本貴和委員(スカイプ)、梶光一委員

参考人：西山理行氏(環境省)、尾室義典氏(農林水産省)、稲本龍生氏(林野庁)

議事概要：

1) 委員会役員の決定：

鷲谷いづみ連携会員を委員長とし、梶光一特任連携会員を副委員長とすることを決めた。役員のうち、幹事については第2回以降に決める旨の提案がなされ了承された。

2) 関連施策とその実施状況および課題について、参考人として招聘した環境省、農水省、林野庁の担当者からご報告いただいた。

西山理行氏(環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室長)

尾室義典氏(農林水産省農村振興局農村環境課鳥獣対策室長)

稲本龍生氏(林野庁森林整備部研究指導課森林保護対策室長)

3) 野生動物管理学からみた野生動物の現状について、梶委員から、野生動物の定義、シカやイノシシの歴史的分布変遷と増加要因、人間活動との関係、管理の課題などに焦点をあてた報告がなされ、2)の各省担当者の報告ともあわせて、質疑応答と意見交換がなされた。複数の法にもとづくやや複雑な現状での対策に関して表などの形に整理して情報共有すること、野生動物とヒトとの関係に関するより本質的な見方を踏まえて審議する必要性などについての提案が委員からなされた。

4) その他：

特任連携会員2名の新たな任用の幹事会への提案を委員会から要望することが了承された。